



平成 23 年 8 月 1 日 発行
牛久市シルバー人材センター広報委員会
牛久市女化町 859-3
e-mail usiku@sjc.ne.jp

会員数 575 名 (男 446・女 129) 6 月 30 日現在



平成 23 年度第 24 回通常総会開催



平成 23 年 5 月 26 日(木)午前 9 時 30 分より、牛久市総合福祉センターにおいて第 24 回通常総会が池邊市長をお迎えし、開催されました。去る 3 月 11 日発生 of 東日本大震災に対する被災者救済活動最優先の日程を受け、3 月予定の通常総会は中止し、今 5 月総会へ審議・議案を繰り越したため、検討事項が盛り沢山の総会となりました。出席者 95 名、委任状出席者 285 名、計 380 名の出席者により、牛久市シルバー人材センターの平成 23 年度事業計画及びそれに伴う収支予算、平成 22 年度事業報告及び収支決算報告等についての議案説明がなされ、承認を受けました。また 23 年度の新役員が推薦、選任され、会員に紹介されました(右写真)



平成 23 年度事業計画の基本方針

シルバー人材センターを取り巻く経済情勢は、失業率の高止まりなど、大変厳しい状況にあります。更に、昨年の政府事業仕分により、大幅な補助金削減の結論が出され、当センター予算の組み替いを余儀なくされるという影響が出ております。

平成 24 年度から当センターは新公益法人へ移行する予定であり、それに向けて、鋭意、取り組んでいきます。また、昨年から実施している社会奉仕活動の拡大発展を図り、市長が提唱している「協働でのまちづくり」に寄与します。

わたくしたちはこのようなシルバー人材センターを取り巻く諸情勢を的確に捉え、認識し、如何にして就業の場を確保するかを最大のテーマとして、取り組むとともに、互いに励まし、協力し合って、更なる福祉の向上と明るい地域づくりに努めます。

〇23 年度重点目標

1. 新公益法人体制の確立
2. 会員の増強
3. 安全・適正就業の確立
4. 就業先の開拓
5. 企画提案事業の推進
6. 自主事業の拡充
7. 社会奉仕活動の推進
8. 情報システムの確立

平成 22 年度事業報告

平成 22 年度は国からの補助金の大幅な削減や就業先の人件費抑制等による就業の取り消しなどの厳しい環境下にあつて、受託事業収入では念願の 2

億円の大台に乗せましたが、会員数では 11 名増に留まりました。平成 24 年度の新公益法人への移行にあたっては、事務局長を中心とする作業チームを編成し、定款をはじめとした諸規定の作成・整備等に当たりました。

また、22 年度の地域貢献事業として、公共施設(幼稚園・保育所等)の庭木の剪定・除草・遊具等の塗装を実施しました。

22 年度の特筆すべきこととして、東日本大震災により、牛久市総合福祉センターに避難された方々への慰労を行うため、「避難者への話しかけ」を行ったほか、牛久市ニューススポーツクラブの協力を得て「ニューススポーツを楽しむ会」を開催しました。

平成 22 年度実績

1. 受注件数	2,567 件
2. 契約金額	212,299,717 円
3. 配分金額	185,622,347 円
4. 事務費収入	14,334,880 円
5. 登録会員数	558 人(男 431 女 127)
6. 会員入会数	94 人(男 72 女 22)
7. 会員退会数	83 人(男 59 女 24)
8. 就業実人員	523 人
9. 就業延人員	50,019 人日
10. 就業率	93.7%

平成 23 年度

専門委員会活動計画



総務委員会

1. 新公益法人へ向けて各規程・規約の見直し
新定款の作成と各規程・規約の見直し
2. 社会奉仕活動の推進
公共施設等の環境整備



事業委員会



1. 会員増強
 - ・ 会員募集チラシの配布 広報うしく、ポスティング、駅前配布等
 - ・ 会員勧誘キャンペーンの実施
2. 独自事業の拡充
 - ・ 売店の営業力強化
 - ・ パソコン教室の拡大・定着化
3. 就業先の拡大
 - ・ 既存先への就業拡大



広報委員会

1. シルバーだより「うしく」の発行
楽しめる記事、話題性のある記事等をタイムリーに掲載
2. 牛久市シルバー人材センター独自ホームページの制作
新公益法人の重要条件である情報開示の手段として、新しいHPを制作
3. 既存ホームページの充実・更新体制の確立
牛久コミュニティネットに掲載のシルバー人材センターHPの更新体制を確立
4. シルバー人材センターPRのための広告、チラシ等の作成と配布

安全委員会



1. 就業現場巡回安全パトロールの実施強化
2. 会員の安全・適性就業の確保
(就業場所の環境と健康状況のチェック)
3. 自転車での就業会員に自転車交通安全講習会の実施
4. シルバー会員の自動車交通安全講習会の実施
5. 他シルバー人材センターとの交流の促進
6. ヒヤリ・ハット運動の推進

シルバー「パソコン教室」のご案内

シルバーセンターの会員及びご家族の方を対象とした「パソコン教室」を下記の内容で計画しています。

教室の開講日等につきましては、配分金通知書に案内書を同封して、会員の皆様にご連絡いたしますが、10月は下記の期間で実施いたします。

- ・フォローアップ・初めてのパソコン講座 10月13日(木)～10月27日(木)
- ・趣味のデジカメ・初めてのエクセル講座 10月12日(水)～10月26日(水)



講義内容

コース	講座名	曜日	時間	延時間	受講料	その他
E	フォローアップ講座(Word)	月・木曜日	09時～12時	15時間	7,500円	テキスト代別途
F	初めてのパソコン講座(Word)	〃	13時～16時	〃	〃	〃
G	趣味のデジカメ講座	水・金曜日	09時～12時	〃	〃	〃
H	初めてのエクセル講座(Excel)	〃	13時～16時	〃	〃	〃



安全委員会だより



平成 23 年度は災害事故ゼロをめざそう

牛久市シルバー人材センターの平成 22 年度の災害事故状況を取りまとめました。平成 22 年度も重篤事故はありませんでしたが、4 件の災害事故が発生しています。

- ① 電動バリカンでの植木の切り込み作業が終了し、バリカンを片づける際、右手人差し指の内側を刃に当ててしまい裂傷。
 - ② 分別作業の際、ビンの蓋を開けようとして手を滑らせ、左親指内側を裂傷。
 - ③ 店舗清掃で、入口のガラスを拭いていた際、足を滑らせて手を突き、右手首を捻挫。
 - ④ 就業終了後、自転車で帰宅途中、車と接触事故。骨盤を骨折し入院。
- 単純な繰り返しの作業は、ややもすると、気が緩

み、大きな事故に結びつきます。常に安全を意識した基本動作が必須です。

会員の皆さまには、「安全・適正就業の徹底と実践」を合言葉に仕事に取り組んでください。また、牛久市集団検診等を毎年受けるなど、定期的な健康チェックをお願いします。その結果については事務局に提出願います。安全委員会も、「就業現場巡回安全パトロールの強化」「就業場所の環境と会員の健康状況チェック」「自動車・自転車講習会の実施」「ヒヤリ・ハット運動の推進」等の施策を展開し、“平成 23 年度災害事故ゼロ”を目指します。

“常に健康に心がけ” “常に安全を意識” して、仕事に取り組みましょう……！！

牛久市シルバー人材センター災害事故の状況 (H22・4・1 から H23・3・31 までの状況)

災害事故の型	事故の内容	事故件数	内死亡	内入院
植木剪定作業 除草作業	植木・樹木の剪定作業中の転落事故	0 件	0 件	0 件
	作業中の事故	1 件	0 件	0 件
	脚立(三股)等を使用し、清掃等で転落事故	0 件	0 件	0 件
交通事故	自動車に追突・衝突	1 件	0 件	1 件
	車に跳ねられる、運転を誤る	0 件	0 件	0 件
就労中の事故	作業中の事故	2 件	0 件	0 件
無理な動作	無理な動作	0 件	0 件	0 件
合 計		4 件	0 件	1 件

この時期、特に注意する点は

屋外作業に従事の皆さん、毎日ご苦労様です。

暑さで気が緩むせいか、この時期事故も増えてきていますので注意しましょう。

「安全第一」「事故ゼロ」をモットーに就業しましょう。

- ① 自己の健康管理に留意し、睡眠不足等での疲れを翌日に持ち越さないようにしましょう。
- ② 始業前の事故安全対策や器具などの点検及び整理整頓など気をつけましょう。
- ③ 作業内容の確認をしましょう。
- ④ 通勤の時、現場への行き帰りの時、交通事故に会わないよう、特に注意しましょう。

「無事故を目指し、この夏を乗り切りましょう」

職場巡回パトロールを随時行いますので、巡回の際はよろしくご協力ねがいます。

○ 熱中症にかからない予防のポイント

- ・こまめに水分をとる。
- ・少量の塩分をとる。
- ・スポーツドリンクも有効です。
- ・睡眠不足・疲労は大敵、特に二日酔いでの作業は厳禁です。



- ・出来るだけ涼しい服装をしましょう。

屋外作業では、つばの広い帽子が有効です。**次のような症状は熱中症の危険信号です。**

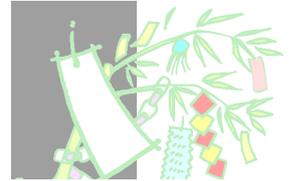
- ・吐き気がする
- ・反応が鈍る
- ・頭が痛い
- ・言動がおかしい
- ・呼吸が速い
- ・脈が早く、弱い
- ・唇がしびれる
- ・めまいがする
- ・筋肉に痛みと痙攣がある



熱中症だと思ったら、すぐに救急車を呼ぶか医者に診てもらいましょう。



新任理事の抱負



宮本常務理事

平成 23 年 5 月 26 日付で常務理事兼事務局長を拝命致しました。会員の皆様には、日頃よりご理解とご協力を賜りありがとうございます。今日、社会の高齢化が進み、シルバー人材センターの果たす役割は一層重要なものとなっております。しかしながら、平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災後、原子力発電所事故による風評被害などにより、経済の情勢は急速に後退し、当シルバー人材センターでも、就業先の打ち切り、時間の短縮などの影響が及んできております。厳しいなかでも、会員が安心して就業し、自らの知識と能力を生かして、社会への貢献と健康増進となる就業機会の提供を目的に邁進してまいります。



福田豊理事

平成 20 年 11 月当センターに入会、現在は西友ひたち野牛久店で良き先輩たちのご指導をいただきながら、業務内容は多種に渡りますが、現役時代の張り詰めた緊張感から現在はほんの少し緊張感を持ち働かせていただいています。この度第 24 回通常総会におきまして理事に選任されました。当センターは 24 年度から新公益法人に移行する予定の大事な年度に選任され強く責任を感じております。自主・自立・共働・共助の理念の元、理事長及び理事、当センター事務局を中心に牛久シルバー人材センターの発展に尽して行きたいと思っております。



山下順征理事

はからずも、このたび理事を拝命いたしました山下です。同時に広報委員会及び事業委員会で活動するよう命ぜられて、身の引き締まる思いであります。諸先輩にご指導を仰ぎながら、シルバー人材センターの発展と会員の生きがいの充実、そして地域社会の活性化に向けて、微力ながら努力したいと考えております。平成 18 年 4 月から不法投棄除去作業でトラックを運転しており、指定ルートに従って牛久市内を巡回しています。毎回 2~3 人のチームで運行していますが、時には班員の全員で食事会を開く等、楽しく過ごさせていただいております。



山田範生理事

当センターの会員になって、早いもので 4 年以上がたちました。牛久大仏陶器市のテント張りを皮切りに、西友で 2 職種を経験し、現在は、ひたち野うしく小学校の休日市民開放日の管理業務をしています。どの職場でも共通に感じることは、会員の皆さまは気持が若く、やる気があり、真面目で良く働くことです。現役時代はさぞかし企業戦士だったであろうと思われま。この度、理事という重責を担い、正直、戸惑いと決意が入り混じった心境にあります。会合に参加してみますと、諸先輩のご尽力の後が痛感させられます。事業委員会、広報委員会を担当することになりました。皆さまのご支援をよろしく願いいたします。



中井文喜理事

この地、牛久つくば界限は、古来より、致命的な天変地異が無く住むに最適と伝え聞き、牛久を吾青山と決めて移り住み 9 年の春秋をおくりました。そして今、総合福祉センターの清掃作業に就いております。シルバー会員になって私なりに感じましたこと、それは現役時代と大きく異なるジャンルの『仕事に就いて』いろいろな時と場面で『いろいろな方々と語り笑い』、そして互いの『健康に気遣う』ことは、安寧なシルバー行路に繋がるのではないかと云うことです。理事を拝命致しましたからには会員皆様の就労・交流・健康の一助となるよう最善を尽くす所存です。宜しく願いいたします。



石垣一幸理事

平成 24 年度から新公益法人に移行する年に理事の大役をいただき、身の引き締まる気持ちでいっぱいです。また、社会的には無縁社会問題がクローズアップされ、家族、地域、職場などの繋がりをもたない人が増えている現状が多々見受けられます。このような状態であってシルバー人材センターの役割は大変重要であります。私としては、これからの課題や皆さま方の意見を踏まえ、シルバー人材センターの活動が「明るく、楽しく、朗らかに」円滑に行える環境づくりに皆様と共に一層推進していく考えでありますので、宜しくお願い致します。

がんばろう日本

東日本大震災の被災地では、この厳しい暑さの中、復旧に向けての取り組みを進めています。まだ、未解決の事も多く、現地の皆さまには、まことご御苦労されていることと、改めてお見舞い申し上げます。

会員の皆さま、そしてご家族、ご親戚のなかでも、被災された方も多いと思います。私達も、被災の苦しさを共有し、この時期を乗り切ろうと決意しています。復旧への道のりは長く続きます。私たちシルバー人材センター会員も、自分たちで出来ることは、率先して取り組み、常に災害復旧を意識し、協力し、一日も早い復旧を目指しましょう。





震災被災者への奉仕活動



“ニュースポーツで震災避難者の心を癒す”
2011年3月11日午後2時46分、突如としてやってきた地震・津波は、人知をはるかに超える大きな爪痕を残して過ぎ去り、そして時は過ぎていく…。

あれから3ヶ月余、被災地では復旧・復興の兆しや足音が聞こえ始めたが、原発の放射能漏れに関しては、未だ汚染地域の特定も無くその対応もままならず、周辺地域の住民は困惑・困窮も限界に達しているのではないだろうか。今回の震災で牛久市は、100人ほどの避難者を受け入れた。当センターは、避難者の何かのお役に立ちたい…の思いから、避難者の心を癒す”ために、ニュースポーツの交流を図ることにした。早速、牛久ニュースポーツクラブに協力を依頼し、避難者のお世話をしている担当者等と相談をすると同時に、ニュースポーツのチラシを作成し、食堂や掲示板に貼るなど、その準備に取り掛かった。福祉センターの各室は避難者用居室になっているため、屋内用のスポーツを屋外



(クローカーコート)で実施することにした。初回は4月4日(月)、対象者38人中6人の参加があり、ディスコン・ニチレク(中央の写真)を実施した。参加者の中で小学3年生の男の子は、あさって(4月6日)会津の小学校に入るんだ。と寂しそうに言っていたのが印象的だった。

2回目の4月11日は18人中8人参加、そこにあの男の子の姿はなかった。3回目の4月25日には避難者も少なくなり、センターホールで前2回とは違う種目のものが実施できた。いずれの参加者にもその意が伝わり、「ありがとう」「楽しかった」の言葉が胸奥に残る。

4回目の5月2日は避難者は居なかった。この3回の交流で、避難者の心を癒すということは「言葉を少なくして、その想いが通じ合える所作」が大切である。と言うことが分かった気がする。

牛久シルバー人材センター理事長 鈴木 伊平



フォト歳時記

「カラー」を育てる

カラーと言えば、一般的に白(湿地用)が目につきますが、黄色・エンジ(畑地用)等のカラーもあります。花屋さんでは一年中販売されていますが、この6月が本当の時期、7年程前、偶然に白カラーの中から黄色の花を咲かせた球根があり、これを毎年育て、現在は大小合わせて30個~40個、この中から花芽をつけてくれるのは7~8株、今年も、現在、3~4株花が咲き始めました。誠に美しい色です。自然は偉大です。土と水と肥料をキッチリと施すと、人に満足感を与えてくれます。(害虫が来るのはシャクに障りますが、虫も一生懸命生きていると思えば納得もしますが?) 今後も楽しみながら花作り、健康に生きてゆきたいものです。

写真・文 千賀 貞夫(会員NO.1130)



インフォメーション広場



趣味

俳句

桜舞う 榮華を偲ぶ 城のあと
紫陽花が 二輪咲きだし 入梅か
— 溯旅人 —

梅雨開けを 待ちて梅酒の 仕込みかな
青々と 大地を床に 瓜育つ
ひまわりの 熱気やゴッホの 狂気見え
— 金巖閑話 —

川柳

総理とは 自分やめなきや 何時までも
放射能 校庭の土 行き場なく
マグロ船 海に戻って ホットする
幕下で 負けても上がる 運の人
電気無く 頼るはお前 ゴーヤだけ
カプセルが 胃の中泳ぎ ガン見つけ
— クボハゼ —

電子マネー 便利よすぎて 使いすぎ
シルバーに 登録したら 友増えた
地震だよ 急いで 風呂に 水入れる
— 溯旅人 —

織姫が 下界を嘆く 汚染空
毎日の 庭に餌やり 雀出勤
— 太平記 —

狂歌

漂流 三週間 飼い犬が
再会できて うれしいうれしい
去年は 桜前線 楽しみて
今放射線 濃いので何処まで
夕張市 ワラをも思い 石原に
想わせだけで 後は知らぬか
あちこちで 観測史上 雨上がり
梅雨も一役 災害日本
— クボハゼ —

◆ 事務局からのお知らせ

◎平成 23 年度の会費を納めて下さい。

会費規約第3条により「6月末までに納入するものとする」となっております。会員を継続する意志のある方は大至急8月31日までに、会費 2000 円の納入手続きを済ませて下さい。

現在未就業の方でも今後会員として、継続を希望される方は会費を納入願います。納入戴けない場合は、自動的に退会となるよう、定められておりますのでよろしくご注意お願い致します。



◎「健康診断書」、「緊急連絡先・かかりつけ医調査票」の提出はお済みですか

- ① 1年以内の健康診断書のコピー
70歳以上の会員は、1年以内の診断結果を提出すると、1,000 円の補助金が受け取れます。特に、体調に留意され就業していただくために、平成 23 年 5 月の総会で可決され、決定した制度です。ご注意下さい。
- ② 緊急連絡先及びかかりつけ医の調査表用紙は、事務局にあります。

◎体調を整えて、就業しましょう！！

今年は、例年に増して厳しい暑さが続きます。栄養と睡眠をしっかりと取り、体調を整えて就業してください。いつもと違うと感じたら、他のメンバーへ交代をお願いするなど、早め、早めの対応をお願いいたします。

